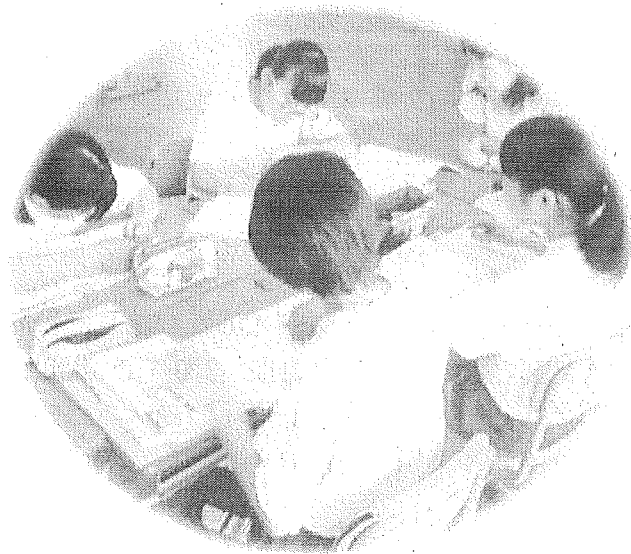


平成27年度

上唯授業のまとめ



平成28年3月

野田市教育委員会

《 目 次 》

1	平成27年度の土曜授業	2
(1)	土曜授業の目的	2
(2)	土曜授業の概要	2
(3)	他県市町村からの土曜授業視察	2
(4)	土曜授業アシスタントの配置	3
(5)	土曜授業の取り組み	5
2	土曜授業アンケート	8
(1)	アンケートの概要	8
(2)	アンケートの結果から	9
3	土曜授業検証委員会と土曜授業実践協議会	14
(1)	土曜授業検証委員会について	14
(2)	土曜授業実践協議会について	18
4	平成27年度土曜授業から平成28年度の土曜授業へ	19
(1)	平成27年度の成果と課題	19
(2)	平成28年度の土曜授業について	20
資料1	土曜授業アンケート集計結果(第1回及び第2回)	
資料2	ベネッセ『VIEW21』教育委員会版 2015 Vol.2	
資料3	平成28年度版土曜授業リーフレット(新入生保護者版)	
資料4	平成28年度土曜授業振替可能日例	

1 平成27年度の土曜授業

(1) 土曜授業の目的

- ・よりきめ細かで、質の高い指導を行い、市内全ての児童生徒に均等な学習機会を提供する。
- ・有意義で規則正しい学校生活を通じ、児童生徒の生活改善に資する。
- ・児童生徒と向き合う時間を確保する。つまずきを整えたり、より重点的に指導したりする時間を確保する。

(2) 土曜授業の概要

① 実施日・実施回数

毎月第2・第4土曜日を基本とし、午前中3時間授業を行う。授業時数は教育課程に含まれる。平成27年度は年間15回実施した。

② 内容・実施形態

主に、補充的な学習や発展的な学習など、日頃なかなか時間の余裕の取れない学習を、土曜日ならではの豊富な地域人材を活かして、きめ細かな指導体制で行った。具体的なカリキュラムは、各学校の実情に即して各学校が決定している。(後述)

③ 人的な配置

学校の実態に応じて、TTや少人数授業、習熟度別授業などを行うために配置。

<月～土を通じて>

※ 平成28年2月1日現在

◆サポートティーチャー・・・小学校20校42名
中学校 9校11名

<土曜日のみ>

※ 平成28年2月1日現在

◆土曜授業アシスタント・・・177名を希望校に配置 (後述)

(3) 他縣市町村からの土曜授業視察

土曜授業関連の視察は以下のとおりである。

今年度は、土曜授業2年目ということもあり、視察は2件と、昨年度の8件から大幅に減った。ただ、電話での問い合わせも依然あることから、土曜授業に関心のある人や自治体はあると推察される。

27. 08. 06 山口県防府市市議会教育厚生委員会

28. 02. 27 埼玉県越谷市市議会議員(北部小・岩名中へ)

(4) 土曜授業アシスタントの配置

平成26年度に引き続き、土曜授業の目的であるきめ細かな学習機会の場を提供するために、平成27年度も地域の方々や大学生に協力を得て、土曜授業アシスタントがT2・T3として教室に入り、児童生徒の学習支援を行った。

平成27年度4月当初は121名（指導者113名 ボランティア8名）のみの配置であったが、近隣の大学生への募集や学校独自の人材発掘により、平成27年度末には177名（指導者168名 ボランティア9名）となった。そのうち、サタデースクールのときに指導者であった人は77名、教員免許保有者は33名、学生は60名である。1回あたりの参加時間は4時間以内で、謝金は1時間あたり1,500円である。

また、平成27年度は土曜授業アシスタントを対象とした研修会を年3回行った。

まず、年度初めの平成27年4月11日（土）に第1回研修会を実施した。内容は、「平成26年度の土曜授業を振り返って」「土曜授業アシスタントとしての留意点の確認及び不祥事防止について」「教室で気になる子どもへの対応のしかたについて」等、報告・説明・講義を行い、最後に質疑・応答の時間を設けた。

「土曜授業アシスタントとしての留意点の確認及び不祥事防止について」では、体罰はどういうものなのか、絶対にしてはいけないことであるということ指導主事より話をした。第1回は管理人も研修会に参加したので、電話対応等の接遇についても触れた。「教室で気になる子どもへの対応のしかたについて」では、特別な支援を要する児童生徒との関わり方について指導主事より講義を行った。

続いて、平成27年7月25日（土）の第2回研修会では、「学習中における支援のしかた」「学校単位での7月までのアシスタント活動の振り返り」「学校での支援のあり方について」などの講義及びアシスタント同士の情報・意見交換を行った。「学習中における支援のしかた」では、〇付けをして子どもを称賛することの意義について指導主事より話をした。「学校単位での7月までのアシスタント活動の振り返り」では、同じ学校でアシスタントする者同士、日頃の悩みなどについても交流する機会となった。「学校での支援のあり方について」では、様々な学校の土曜授業の取り組みを知り、自校でのアシスタント活動の参考になったとの声が聞かれた。

最後に、平成27年8月29日（土）第3回の研修会では、「児童生徒に対する接し方」「学習中における支援の仕方」の講義を行った。第3回の研修会では、土曜授業で参考にされることの多い全国学力・学習状況調査の問題を実際に解いてみたり、授業の中でアシスタントはどこにいたら良いか考えたりする内容だった。この他に、前回の研修会でもアシスタントの悩みとしてあがっていた、「学校の先生方との関わり方」について指導主事より話をした。大切なことは「挨拶

をすること」である旨を伝え、多くのアシスタントの共感を得ることができた。

どのアシスタントも研修会には意欲的に参加し、熱心に講義を聴く姿が見られた。またお互いの情報・意見交換では、日ごろの疑問点や課題をお互いに話し合うことで、研修会以降のアシトの仕方について、理解を深めることができたものとする。一方で、学校の先生方ともっと話す機会が欲しいというアシスタントの声も多かったため、この点は平成28年度の研修会に向けての課題となる。

(5) 土曜授業の取り組み

土曜授業もスタートして2年目を迎え、各学校とも、目の前の児童生徒の学力を向上させようと取り組み内容を工夫して行う学校が増えてきた。

全般に、小学校では算数の習熟度別学習を取り入れる学校が、中学校ではN I E学習や数学・英語の習熟度別学習に取り組む学校が増えてきている。

平成27年6月現在の各校の取り組み内容は以下のとおりである。なお、取り組み内容は年度途中も必要に応じて変更し、より効果的な土曜授業になるように取り組んでいる。

■ 小学校

NO	学年	教科	時間数	学習形態	視教の指導者	学習内容	備考	
1	6	国語	10	一斉	無	補習発展複合	(1~3年)漢字や語句、文法など (4~6年)もじやれ活用学習対策	
		算数		チームティーチング	有	補習的	(1~3年)学テラ個別対策。 (4~6年)もじやれ活用	担任+担任外。
		算数		チームティーチング(1~3年) 少人数習熟度別(4~6年)	有	補習的 補習発展複合	(4~6年)各学年一クラス増やして対応。	担任+アシスタント。
2	10	国語	10	一斉	無	発展的	主に書くこと。	
		算数		少人数習熟度別	有	補習的	各学年一クラス増やして対応。	アシスタント活用。
		クラブ		—	有	—		他校入付活用。 1~3年は2時間授業で下校。
3	9	国語	10	一斉	無	補習的	(宮小言葉の時間)言語・作文・話し聞く。	
		算数		一斉	無	補習的	プリントポドリル。	
		算数		少人数習熟度別	有	補習発展複合	各学年一クラス増やして対応。	アシスタント活用。
4	2	国語	10	一斉	無	補習発展複合		
		算数		チームティーチング	有	補習的 発展的	※1年は補習的。	アシスタント活用。
		算数		習熟度別	有	補習発展複合		アシスタント活用。
5	8	国語	10	一斉	無	通常		
		算数		一斉	無	通常		
		算数		チームティーチング	有	補習発展複合	徐々に習熟度別や課題別に移行。	アシスタント活用。
6	2	国語	10	一斉	無	通常		
		算数		一斉(1~4年) 少人数習熟度別(5~6年)	有	通常		
		算数		チームティーチング(1~2年・4~5年) 少人数習熟度別(3~6年)	有	補習的 補習発展複合	(1~2年)補習的(3年)補習発展複合(4年)その他 (1年)補習発展複合(3年)個別的	アシスタント活用 アサヒ・3年・4年・5年。
7	4	国語	10	一斉	無	通常		
		算数		少人数習熟度別	有	補習発展複合	3~4人の小グループ。	アシスタント活用。
		その他		全校	有	—	他校高学年対談会。 音楽体験・全校体育・学校音楽・芸術区画・4・5・6年生。	アシスタント活用。
8	5	国語	10	一斉	無	通常 補習的 補習的 補習的	※通常11・2・5年。 ※補習的1・3・4・5年。	
		算数		一斉	無	補習的		
		算数		チームティーチング(1~3年) 少人数習熟度別(4~5年)	有	補習的 補習発展複合	※1~5年は補習的 (5年)一クラス増やして対応。	アシスタント活用。

NO	学年	教科	時間数	学習形態	進度の指導者	学習内容	備考
9	7	国語	1	一斉	無	通常	
		算数		一斉	無	通常	
		算数		チームティーチング(1・2年) 習熟度別(3～6年)	有	補習発展複合	(3～6年)学年を16歳まで習熟度。 アシスタント活用。
10	5	国語	1	一斉	無	通常	
		算数		一斉	無	通常	
		算数		チームティーチング(1・2年) 習熟度別(3～6年)	有	補習的・非 補習発展複合	※1・2年は補習的。 アシスタント活用。
11	2	国語	1	一斉	無	通常	
		算数		通常授業(1～4年) 少人数習熟度別(5・6年)	無 有	通常・非 補習的	※1～4年は補習的。 (5～6年)一クラス増やして対応。 アシスタント活用。
		算数		その他 少人数習熟度別	有	補習発展複合	(1～4年)一クラス増やしてコース別。 (5～6年)二クラス増やして対応。 アシスタント活用。
12	15	国語	1	一斉	無	補習的	漢字練習、短作文等。
		算数		一斉	無	補習的	
		算数		チームティーチング(1・2年) 少人数(3～6年)	有	補習発展複合	(3～6年)6年1一クラス増。
13	6	国語	1	チームティーチング(1年) 一斉(2～6年)	有 無	補習的	
		算数		チームティーチング(1年) 一斉(2～6年)	有 無	通常・非 補習的	※ 通常授業は1年のみ。 アシスタント活用。
		算数		チームティーチング(1年) 少人数習熟度別(2～6年)	有 無	通常・非 補習的	※ 通常授業は1年のみ。 アシスタント活用。
14	7	国語 社会	1	一斉	無	通常	3年は社会。
		国語 算数 社会 算数		一斉	無	通常	3年は理科、4・6年は社会、5年は算数。
		算数		チームティーチング(1～4年) 少人数習熟度別(4～6年)	有	通常 補習的	(4～6年)学年を二クラス増やして対応。 アシスタント活用。
15	5	国語	1	一斉	無	通常	3・4・6年は算数を行うこともある。
		国語		チームティーチング	有	補習的	漢字・読解。 アシスタント活用。
		算数		チームティーチング	有	補習的	日常授業の復習。 アシスタント活用。
16	5	国語	1	一斉	無	補習的	漢字検定対策。
		算数		一斉	無	通常	
		算数		少人数習熟度別	有	補習発展複合	各学年一クラス増で対応。 アシスタント活用。
17	7	国語・算数等	1	チームティーチング(1年) 少人数習熟度別(2～6年)	有	補習的	(2～6年)各学年一クラス増で対応。 アシスタント活用。
		国語・算数等		一斉	無	補習的	担任裁量。
		算数		チームティーチング(1年) 少人数習熟度別(2～6年)	有	補習的	(2～6年)各学年一クラス増で対応。 アシスタント活用。
18	8	国語	1	一斉	無	通常	
		算数		一斉	無	通常	
		算数		チームティーチング(1～2年) 少人数習熟度別(3～6年)	有	補習的・非 補習発展複合	※1～2年は補習的。 (3～6年)単元ごとの習熟度。 アシスタント活用。
19	3	国語	1	チームティーチング	有	補習発展複合	7年小学科、ターゲッ児童を目標とした支援 アシスタント活用。
		国語・算数		チームティーチング	有	通常	アシスタント活用。
		算数		チームティーチング	有	補習発展複合	ICTを活用やブリン小学習。 アシスタント活用。
20	7	国語	1	一斉	無	通常	
		国語		一斉	無	発展的	長文問題。
		算数		少人数習熟度別	有	補習発展複合	各学年一クラス増で対応。 アシスタント活用。

■ 中学校

NO	学年 (入試)	教科	時間 数	学習形態	表 数 の 指 導 有	学 習 内 容	備 考	
1	2	国語	コ ー ス 制	一斉	有	補習的	漢字練習。課題作文。	
		数学		ティームティーチング	有	補習的	基礎学習テスト。教え合い。	
		英語		ティームティーチング	有	補習的	基礎学習テスト。教え合い。	
2	3	国語 数学 英語 理科 社会	コ ー ス 制	一 斉 ティームティーチング (数学・英語)	有 (英・英)	補習的	学級単位で行う。問題演習。	
3	2	国語	コ ー ス 制	一斉	有	補習発展複合	基礎から応用まで段階を追った内容。	
		数学		ティームティーチング	有	補習発展複合	基礎から応用まで段階を追った内容。	アシスタント活用
		英語		一斉	無	補習発展複合	基礎から応用まで段階を追った内容。	
4	1	数学	一	少人数習熟度別	有	補習発展複合	数学のステップアップ型学習。 各学年・クラス間で対応。	アシスタント活用。
		5教科	一	少人数習熟度別	有	補習発展複合	5教科の4科目。5教科の5科目併用。 各学年・クラス間で対応。	アシスタント活用。
		・国語	一	ティームティーチング	有	発展的	新聞を活用した言語学習。	アシスタント活用。
5	3	国語	コ ー ス 制	一斉	有	補習発展複合	(前半)漢字検定(後半)古文漢文	
		英語		少人数習熟度別	有	補習発展複合	基礎・標準・応用の3コース。	
		数学		少人数習熟度別	有	補習発展複合	基礎・標準・応用の3コース。	
6	3	数学	一	習熟度別	有	補習発展複合		
		数学	一	習熟度別	有	補習発展複合		
		その他	全校	一	無	一	「学ぶことの意義・目的」について	
7	3	国語 数学 英語 理科 社会	コ ー ス 制	ティームティーチング	有	補習発展複合	プリント学習。解説。見直し。	アシスタントは数学に。
8	0	数学	コ ー ス 制	習熟度別	無	補習発展複合	Eライブラリの活用。学期に1クラス。	
		理科		習熟度別	無	補習発展複合	Eライブラリの活用。学期に1クラス。	国語を行うことも。
		英語		習熟度別	無	補習発展複合	Eライブラリの活用。学期に1クラス。	社会を行うことも。
9	1	数学	コ ー ス 制	一斉	有	補習的	個別重視。今後補習発展複合型へ。	アシスタント活用。
		英語		習熟度別	有	補習発展複合	英語取得グループと、補習グループに分かれる。	
		その他		その他	有	その他	Eライブラリの活用。個別学習。	
10	0	国語	コ ー ス 制	少人数習熟度別	有	補習的	各学年を単位として、国語の200分程度の学習を。	
		数学		ティームティーチング(1年) 少人数習熟度別(2・3年)	有	補習的	計算練習を中心に、既習事項の基本問題を。	
		英語		少人数習熟度別	有	補習的	単語練習を中心に、ライティング。	
11	1	その他	コ ー ス 制	一斉	無	通常	時間数の少ない教科を充てる。	
		国語・数学・英語		ティームティーチング	有	補習的	基礎学習テスト。教え合い。	
		その他		ティームティーチング	有	補習発展複合	NIE学習。文章力・表現力の向上。	

2 土曜授業アンケート

(1) アンケートの概要

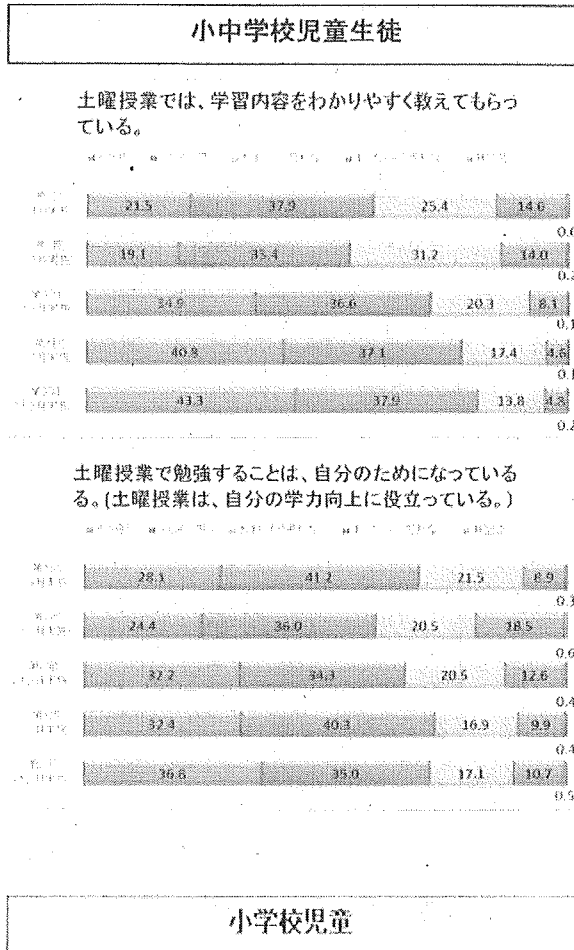
土曜授業の効果や成果、課題を検証するために、平成27年度は平成26年度(全3回)に引き続き全2回のアンケートを実施した。実施時期や回答人数は以下のとおりである。

		第1回			第2回		
		小学校	中学校	合計	小学校	中学校	合計
回答人数	児童生徒	640	328	968	644	340	984
	保護者	566	313	879	578	273	851
	教職員	431	258	689	477	276	753
実施時期		平成27年7月13日(月) ～7月16日(木)			平成27年12月14日(月) ～12月17日(木)		
調査対象		<p>■教職員は市内全小中学校全教職員。 (事務職員・栄養教諭は除く)</p> <p>■児童生徒及び保護者については、市内全小中学校。</p> <p>【小学校】 4～6年から30名程度抽出</p> <p>【中学校】 1～3年から30名程度抽出</p>			<p>■教職員は市内全小中学校全教職員。 (事務職員・栄養教諭は除く)</p> <p>■児童生徒及び保護者については、市内全小中学校。</p> <p>【小学校】 4～6年から30名程度抽出</p> <p>【中学校】 1～3年から30名程度抽出</p>		

(2) アンケートの結果から

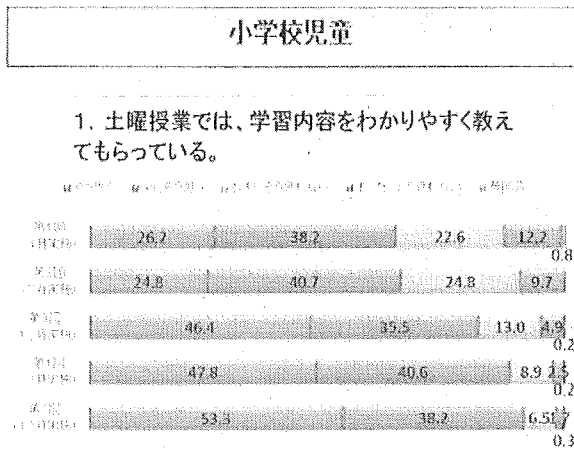
平成26年度第1回から平成27年度第2回までの全5回の土曜授業アンケート結果について、比較できる質問についてその推移を見てみる。

① 児童・生徒

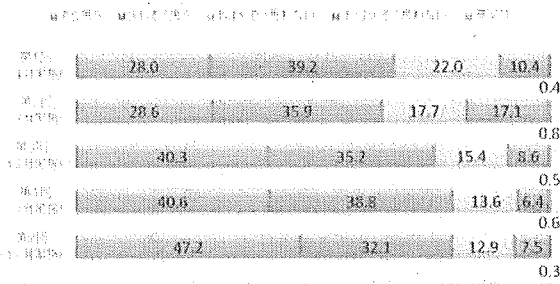


小学校児童と中学校生徒を合わせた結果を見てみると、「土曜授業では、学習内容をわかりやすく教えてもらっている。」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、アンケートの回数を重ねるごとに増え、直近では81.2%に上る。「土曜授業で勉強することは、自分のためになっている。(自分の学力向上に役立っている。)」と肯定的に回答した児童生徒の割合も直近で71.8%であった。

小学校児童と中学校生徒をそれぞれ見てみると、小学校の児童については、「土曜授業で、学習内容をわかりやすく教えてもらっている。」と肯定的に回答した児童の割合は、直近の調査で過去最高の91.5%に上った。「土曜授業で勉強することは、自分のためになる。」と肯定的に回答した児童の割合も直近の調査で79.3%に上ることから、小学校では各学校の土曜授業の取り組みについて、児童が好意的に受け止めていると考えられる。算数を中心とした習熟度別学習や少人数授業を、土曜授業アシスタントの協力を得て実施するこ

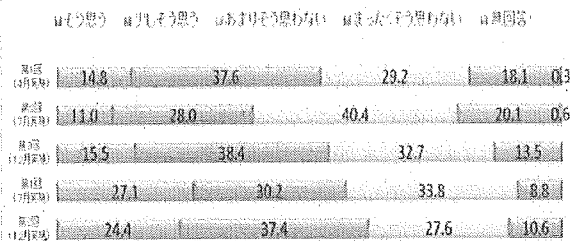


3. 土曜授業で勉強することは、自分のためになる。

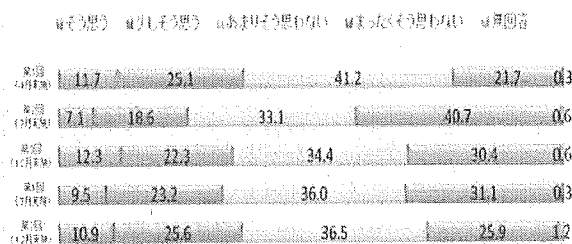


中学校生徒

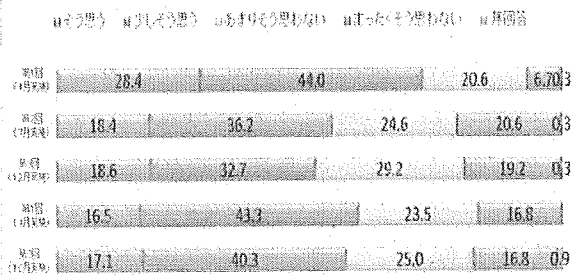
1. 土曜授業では、学習内容をわかりやすく教えてもらっている。



3. 授業のある土曜日は、授業のない土曜日と比べて、一日が充実している。



4. 土曜授業は、自分の学力向上に役立っている。



とで、きめ細かな指導ができてい
ることが大きい。

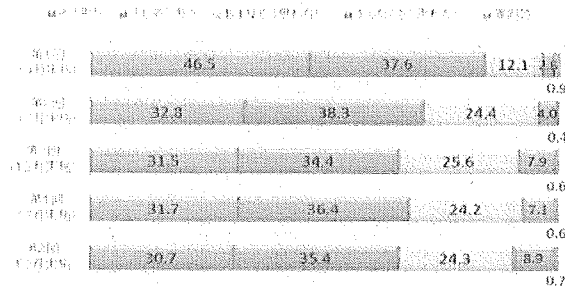
中学校の生徒については、「土曜授業は、自分の学力向上に役立っている。」と肯定的に回答した生徒の割合は6割程度で推移している。「土曜授業では、学習内容をわかりやすく教えてもらっている。」と肯定的に回答した生徒の割合も直近の調査で過去最高の61.8%であったことから、土曜授業に学力向上に対する一定の効果を感じている生徒も少なくないと考えられる。中学校では、今年度に入り、NIE学習や数学の習熟度別学習など、生徒の実態に応じ、平日の授業とは違う土曜ならではの授業を行うようになってきていることが効を奏している。ただ、「授業のない土曜日と比べて、土曜授業日が充実している。」という回答において否定的な生徒が依然62.4%おり、中学生の感想を見ても、「部活ができない。」「疲れを取る余裕がない。」「勉強は自分でやるから強制されても困る。」といった意見が挙げられていることから、土曜授業の取り組み内容については評価しつつも、土曜授業の趣旨を十分に理解できていない生徒も一定数いるものと考えられる。

小学校中学校共に、今後は部活動との調整を図りながら、土曜授業の成果を児童生徒自身が感じられるように取り組んでいくことがさらに求められる。

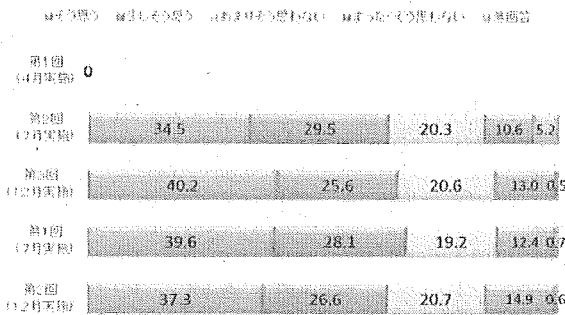
② 保護者

小中学校保護者

3. 土曜授業は、子どもたちの学力向上の一助となっている。

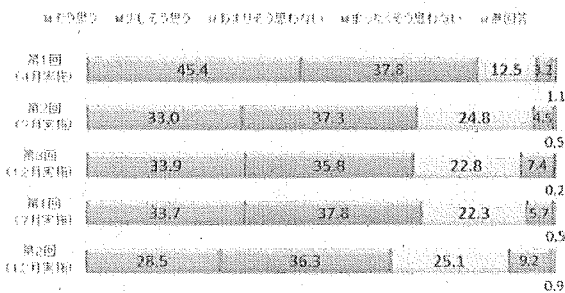


4. 今後も土曜授業を続けてもらいたい。

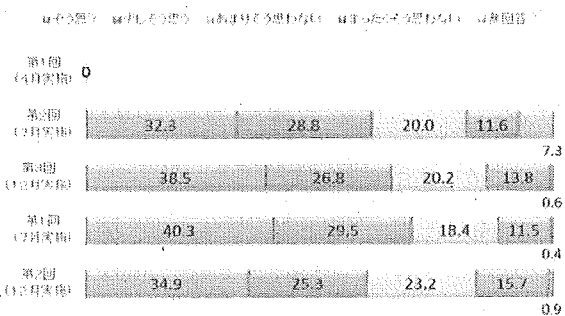


小学校保護者

3. 土曜授業は、子どもたちの学力向上の一助となっている。



4. 今後も土曜授業を続けてもらいたい。

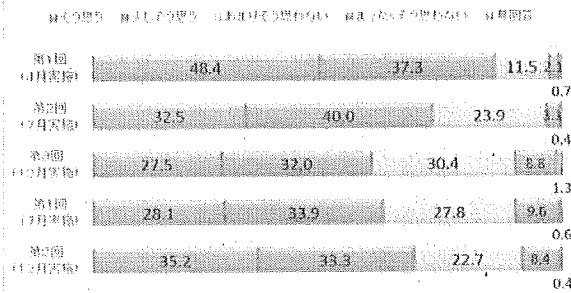


小学校保護者と中学校保護者を合わせた結果を見てみると、「土曜授業は、子どもたちの学力向上の一助となっている。」と肯定的にとらえている保護者の割合は直近の調査で66.1%であったが、第2回調査以降はあまり変化していない。

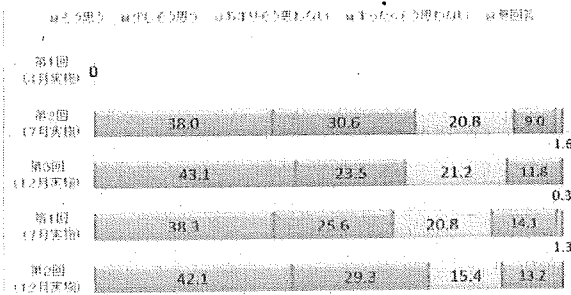
小学校保護者と中学校保護者をそれぞれ見てみると、「土曜授業は、子どもたちの学力向上の一助となっている。」と肯定的に回答した小学校の保護者の割合は直近の調査で64.8%と、前回よりも6.7%減少している。一方で、中学校の保護者は直近の調査では68.5%で、前回の調査からは6.5%増えている。「今後も土曜授業を続けてもらいたい。」と考える保護者についても、小学校は前回調査から直近の調査で9.6%減少している一方、中学校は7.5%増えている点を見ると、中学校の保護者は土曜授業の取り組みに理解を示してきているものと考えられる。小学校の保護者については、その感想を見てみると、「子どもが疲れている。」「家族で過ごす時間が減ってしまった。」「詰め込みすぎである。」などの意見が挙がっていた。小学校では昨年度来、土曜授業の取り組みを充実させ実施しているが、その成果よりも児童の疲労度や土曜日の過ごし方への保護者の考えや思いが全面に出ているものと推察される。

中学校保護者

3. 土曜授業は、子どもたちの学力向上の一助となっている。



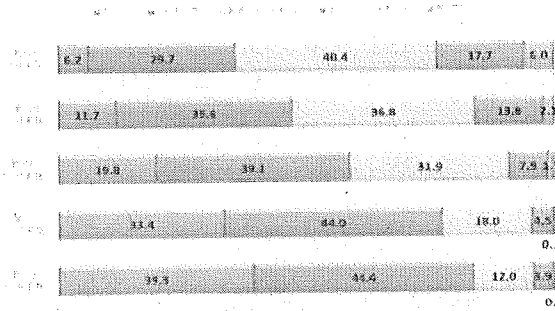
4. 今後も土曜授業を続けてもらいたい。



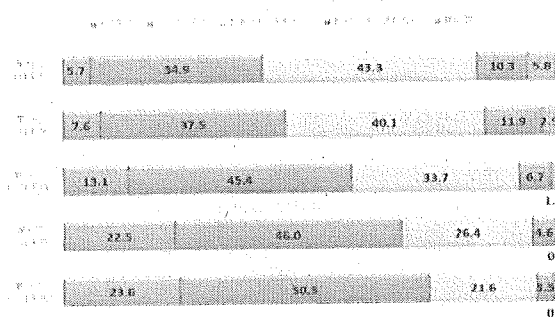
③ 教職員

小中学校教職員及び管理職

1. 土曜授業では、普段できない個別指導や少人数指導、習熟度別学習やチームティーチングなどを行っている。



2. 土曜授業は、児童生徒の学力向上の一助となっている。



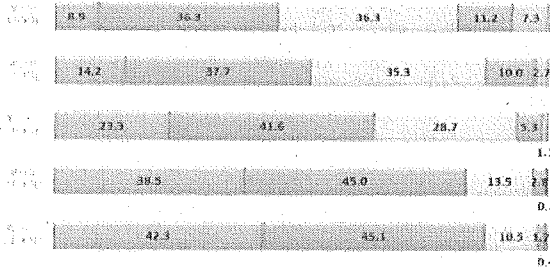
今後も土曜授業の取り組みについて積極的に保護者に説明をしていくとともに、土曜授業による成果が見える形で保護者に示していく必要がある。

小学校教職員と中学校教職員を合わせた結果を見てみると、「土曜授業は、学力向上の一助となっている。」と肯定的に回答した教職員の割合は、直近の調査では初回調査の時よりも33.5%増えて74.1%と過去最高になった。「習熟度別学習やチームティーチングなどきめ細かな学習に取り組んでいる。」と考えている教職員も、直近の調査では初回調査の時よりも47.8%増えて83.7%と過去最高となっていることから、教職員が土曜授業の趣旨を理解し、土曜授業の取り組みにある程度の手応えを感じ始めているものと考えられる。

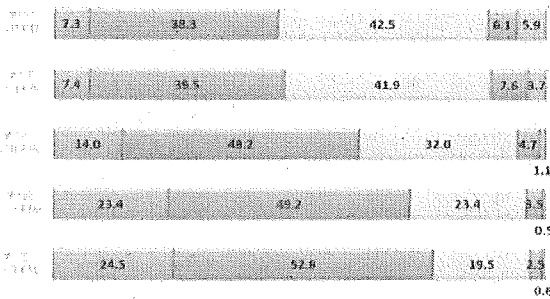
小中共に肯定的な回答の割合は

小学校教職員及び管理職

1.土曜授業では、普段できない個別指導や少人数指導、習熟度別学習やチームティーミングなどを行うことができています。

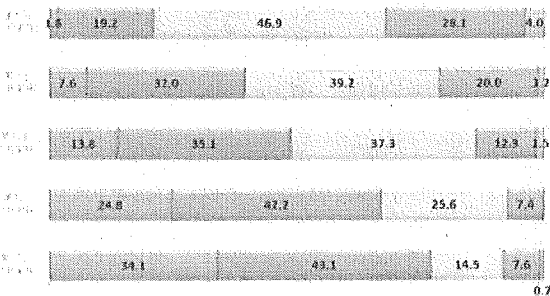


2.土曜授業は、児童生徒の学力向上の一助となっている。

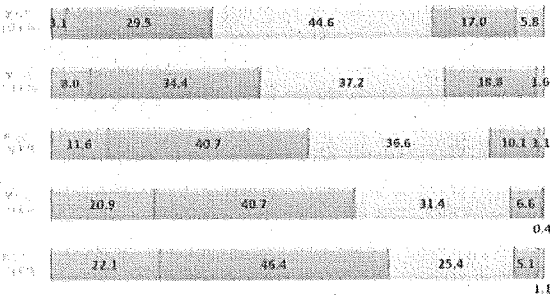


中学校教職員及び管理職

1.土曜授業では、普段できない個別指導や少人数指導、習熟度別学習やチームティーミングなどを行うことができています。



2.土曜授業は、児童生徒の学力向上の一助となっている。

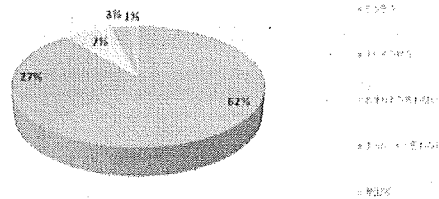


増えているが、特に中学校の数値の上昇率は高く、中学校の保護者の評価も回復していることを考えると、中学校での土曜授業の取り組みが効を奏しているものと推察される。

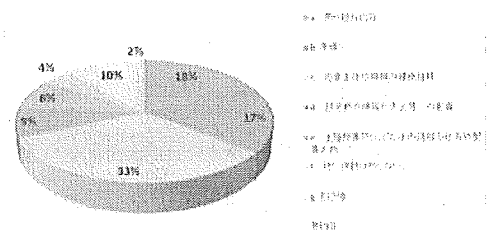
直近のアンケートの質問事項に加えた「土曜授業のあった翌週は、土曜授業による疲労感をおぼえることが多い。」と感じている教職員は88.9%にも上る。また、土曜授業の課題を一つだけ選ぶ質問では、小中共に「子どもや教職員の健康維持」がもっとも多く、小学校では次いで「取り組み内容やその準備」、中学校では「部活動の練習や大会等への影響」が上げられている。児童生徒の学力向上に向けて土曜授業に熱心に取り組む教職員が増えている一方で、教職員の負担感については引き続き軽減を図らなければならないと考える。

小中学校教職員及び管理職

3.土曜授業のあった翌週は、土曜授業による疲労感をおぼえることが多い。



4.土曜授業のどのような点が課題だと感じていますか。



3 土曜授業検証委員会と土曜授業実践協議会

(1) 土曜授業検証委員会について

① 目的

2年目を迎え、土曜授業の「きめ細かで、質の高い指導を行い、市内全ての児童生徒に、均等な学習機会を提供する。」という目的にどれだけ迫ることができているかについて、各学校の取り組み内容から検証する。その上で、土曜授業の取り組み内容について今年度の成果と課題を把握し、次年度に向けて、より望ましい取り組みに変更していけるよう提言していくための組織とする。

② 検証テーマ

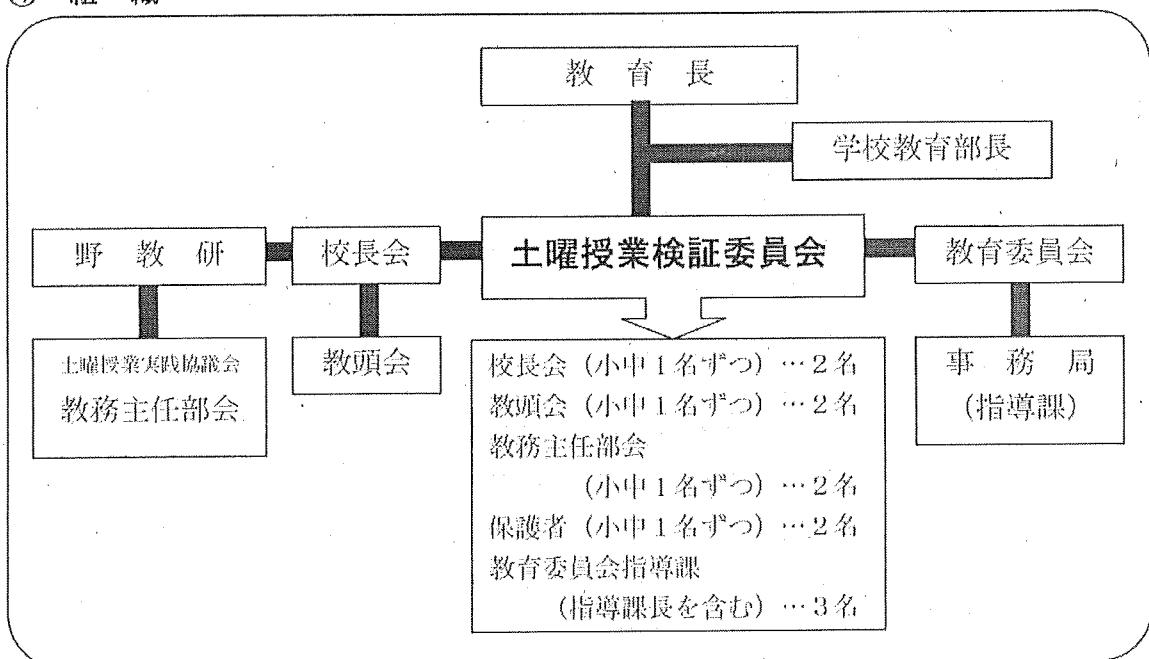
目的に迫る土曜授業の効果的な取り組みとはどのようなものか。

土曜授業アンケートの集計結果や野田市学習到達度調査結果などと各学校の取り組みとの関連性を見極めるとともに、各学校がどのような土曜授業を行っているか把握し、効果的な取り組みを市内で共有できるように検証を進める。

③ 検証テーマに迫るための検証委員会活動の柱

- ① 検証委員が効果的な取り組みを行っている学校の土曜授業を視察する。
- ② 教務主任対象の土曜授業実践協議会を年2回開き、自校の取り組み等を意見交換しながら、効果的な土曜授業の取り組みについて共通理解を図る。

④ 組織



- ①上記の人数を選任し、教育長が委嘱する。
- ②同一校から委員が2名以上出ないように調整する。
- ③校長会の委員から委員長及び副委員長を選出する。
- ④保護者代表は、原則、野田市PTA連絡協議会事務局が置かれるブロックの小中学校から1名ずつ選出する。
- ⑤事務局を教育委員会指導課に置き、指導課長と共に、補習等アシスト事業を含む土曜授業担当者を配置する。

⑤ 検証委員名簿

校 長 会	(小) 市原智 (清水台小)	(中) 矢部雅彦 (岩名中)
教 頭 会	(小) 土屋孝之 (みずき小)	(中) 飯森淳 (関宿中)
教 務 主 任 部 会	(小) 遠藤克明 (山崎小)	(中) 綿引尚人 (東部中)
保 護 者	(小) 伊藤豊 (尾崎小)	(小) 木名瀬訓光 (北部小)
教 育 委 員 会	(指導課長) 桑原辰夫	
	(指導課) 瀬戸芳男	(指導課) 間々田英示

⑥ 全3回の検証委員会から

第 1 回

- 開催日 平成27年7月13日 (月)
- 開催場所 市役所 706会議室
- 出席人数 10名
- 土曜授業の効果的な取り組みについて
 - ① 子どもたちに土曜授業の意義を伝え、納得してもらって行うことが大切である。
 - ② 子どもたちの実態をきちんと分析して、土曜授業の目標を明確にする必要がある。
 - ③ 普段 (平日に) できない土曜授業ならではのものを実施し、子供たちが土曜授業を楽しみと思えるような取り組みが必要である。

第 2 回

- 開催日 平成27年8月6日 (木)
- 開催場所 市役所 8階大会議室
- 出席人数 11名
- 土曜授業の効果的な取り組みについて (土曜授業実践協議会を受けて)

土曜授業の取り組みを、平日の授業等とどのように関連させていけるかを考えて取り組む必要がある。平日と土曜授業がまったく相容れないようでは意味がない。

第 3 回

- 開催日 平成28年2月1日(月)
- 開催場所 市役所 701会議室
- 出席人数 10名
- 土曜授業の効果的な取り組みについて(土曜授業学校視察等を受けて)
 - ① キーワードは「少人数」「習熟度」「教え合い(協働学習)」。
 - ② 子どもたちの実態をきちんと把握し、土曜授業の進め方を先生方で共通理解する必要性。
 - ③ NIEや検定など、平日になかなか取り組むことのできない学習を取り入れる。
 - ④ どのような学力を身に付けさせたいのかを明確にする必要性。
R(リサーチ) V(ビジョン)そしてPDCAである。

⑦ 土曜授業の効果的な取り組みについての提言

土曜授業検証委員会では、3回の協議を経て、「土曜授業の効果的な取り組みについての提言」を取りまとめた。(次ページ参照)

この提言については、校長会等の場を通して市内各小・中学校に周知し、平成28年度の土曜授業の取り組みで生かしてもらうこととしている。

平成28年2月

土曜授業の効果的な取り組みについての提言

土曜授業検証委員会

土曜授業がスタートしてまもなく2年が過ぎようとしています。この間、児童生徒の学力向上を目指して、さまざまな土曜授業の取り組みが先生方の努力によって実践されてきました。

そこで、土曜授業検証委員会では、今年度、土曜授業の効果的な取り組みについて検証を進めてきました。来年度以降、土曜授業が児童生徒の学力向上により効果のあるものとして実施されることを願い、土曜授業の効果的な取り組みについてここに提言します。

【土曜授業の効果的な取り組み】

- I 習熟度別学習や少人数指導、協働学習（学び合い）等、児童生徒の実態に応じた学習に取り組む。
- II 検定やNIEなどを活用して、平日になかなか取り上げることのできない学習に取り組む。
- III 下位層の児童生徒への対応を手厚くするとともに、教材の開発等、上位層の児童生徒への対応も意識して取り組む。

土曜授業を実施するにあたっては、以下の点に留意する。

- ① 児童生徒にどのような力を身に付けさせたいのかを明確にし、一年を通して計画的に取り組むことが大切である。R（リサーチ）V（ビジョン）そしてPDCAである。
- ② 担任の裁量で行うのではなく、全教職員で自校の土曜授業の取り組みについて共通理解を図り、全校体制で取り組んでいくとともに、土曜授業アシスタントを適材適所で活用していくことが大切である。

土曜授業に限ることではありませんが、目の前の児童生徒の実態がどうなのか。その児童生徒にどのような力を身に付けさせたいのか。そして、その力を身に付けさせていくにはどのような手立てを講じるのか。これらのことについて、全教職員が共通理解を図り、校長先生の指導の下、同一歩調で取り組んでいくことがとても大切なことです。その上で、土曜授業アシスタントの協力を仰ぎながら、平日になかなか取り入れることのできない学習形態や学習内容で、土曜授業ならではの取り組みを行うことは、学力向上において平日の授業との相乗効果が見込まれると考えます。

各学校においては、以上のことを念頭に置きながら、自校の実態に応じて土曜授業の取り組み内容を検討し、実践されていくことを期待します。

(2) 土曜授業実践協議会について

① 目的

自校の土曜授業の取り組みについて情報交換をしながら、効果的な土曜授業の取り組みについて、市内小中学校の先生方で共通理解を図る場として実施する。

② 実施日及び会場

第1回 平成27年8月6日(木) (市役所8階大会議室)

第2回 平成28年2月18日(木)

(千葉県教育庁東葛飾教育事務所東葛飾研修所)

※ 野田市教育研究会教務主任部会と同時開催

③ 対象者

- ・市内公立小中学校教務主任

教務主任が出席できないときは、代理を出す。

- ・土曜授業検証委員

学校現場の声を直接聞くことで、土曜授業の検証に役立てていく。

④ 実施内容

第1回 ・土曜授業の取り組みについての実践発表

〈小学校〉野田市立七光台小学校

算数の習熟度別学習の取り組み

アシスタントとの朝、終了後の打合せの持ち方

〈中学校〉野田市立東部中学校

数学のステップアップ学習及びNIE学習の取り組み

- ・土曜授業の取り組みについての情報・意見交換

第2回 ・土曜授業の自校の取り組みについて成果と課題の情報交換

⑤ 成果と課題

〈成果〉

- ・実践発表やグループ協議を通して、他校のさまざまな土曜授業の取り組みを知り、自校の取り組みの参考にすることができた。
- ・土曜授業の取り組みの課題について教務主任の間で共有することができ、より良い土曜授業の取り組みについて考えることができた。

〈課題〉

- ・実践発表校に発表準備の負担がかかる。